市長定例記者会見資料

平成 31 年 4 月 18 日	
所　属	歴博・文化財担当
所属長	楞野　一裕
電　話	06-6489-9801

きっと誰かに話したくなる！初公開の尼崎城絵図などを展示する出張企画展と市民と共にあゆむ博物館を目指すシンポジウムを開催

1　趣旨

文化財収蔵庫は現在、リニューアル工事中で令和２年秋に新博物館として開館予定です。新博物館では、これまで収集してきた全国的に見てもトップクラスの充実度を誇る歴史的価値の高い文化財が常設で展示可能になります。開館に向けた先行イベントとして、市指定文化財に指定後初公開となる尼崎城絵図や産業のまちとしての威信を懸けて収集した自称日本一の博覧会コレクション、失敗が許されない外交接待の記録といった尼崎にゆかりの深いコレクションなど新博物館を特色づける、えりすぐった逸品を紹介します。

また、今回できる本格的な新博物館は歴史講座や各種体験学習などの教育普及を一層進める歴史・文化の拠点として生まれ変わります。訪れる誰もが本市の歴史に触れ学ぶことができるよう、さまざまな形で市民が博物館で活動している事例の紹介や「市民と共にあゆむ博物館」をテーマとするパネルディスカッションなどを行うシンポジウムを開催します。

2　文化財収蔵庫出張企画展　はくぶつかんのコレクション

(1)　会期

令和元年５月１６日～６月２日　会期中無休　開館時間は午前１０時～午後５時

(2)　会場

尼崎市総合文化センター４階　美術ホール　（尼崎市昭和通２－７－１６）

(3)　展示内容

以下の８つのコレクションから、約 100 点のえりすぐった逸品を紹介します。

① 古代・中世の荘園資料コレクション
② 近世大坂画壇の絵画コレクション
③ 江戸時代の工芸品コレクション
④ 尼崎ゆかりの芝居錦絵コレクション
⑤ 朝鮮通信使資料コレクション
⑥ 尼崎城絵図コレクション
⑦ 尼崎ゆかりの広告資料コレクション
⑧ 博覧会資料コレクション

(4)　展示のみどころ

①　尼崎ゆかりの芝居錦絵コレクションから「国周　絵本太功記十段目」

現代のブロマイドに代わるもので愛好者の観賞用として人気があった錦絵。今回、展示されるものには歌舞伎の「絵本太功記」十段目の「尼ケ崎の段」の役者が描かれています。絵の作者は明治期の役者絵の第一人者の豊原国周（とよはらくにちか）で、明治４（1871）年刊行です。「絵本太功記」十段目は安土桃山時代の尼崎が舞台で、略して「太十（たいじゅう）」と呼ばれる人気芝居でした。本市では、平安時代末期の大物が舞台となる「義

経千本桜」二段目「大物浦・渡海屋の段」の芝居錦絵も収集しており、関連作品を含めて約 100 点の芝居錦絵を収集しています。

② 朝鮮通信史資料コレクションから「朝鮮人来聘行列次第」

文化８（1811)年に朝鮮通信使が来日した際の将軍就任を祝う国書を運ぶ行列を描いた長さ 13mもの絵巻物で 479 人の人物が描かれています。兵庫津(現、神戸市兵庫区)を領地としていた尼崎藩では瀬戸内海を航行してきた朝鮮通信使を幕府から命ぜられ同地で接待していました。宿舎の設営や綿密に構成された献立を練るなど、それは藩の威信を懸けた大行事でした。この史実に由来し、本市では朝鮮通信使の資料収集を図ってきており、その総数は 100 点を超えています。

③ 博覧会資料コレクションから「明治6年英文京都案内」

明治６（1873）年に京都御所で開催された博覧会を訪れる外国人用に制作された英文京都案内で、山本覚馬（新島八重の兄）が制作しました。ＮＨＫの大河ドラマ「八重の桜」や「歴史秘話ヒストリア」でも紹介されています。博覧会は産業発展を目的に開催されたのが始まりであり、産業都市尼崎らしいコレクションとして博覧会資料の収集を行い、その資料総数は 3,700 点を超え、質量共に日本一と言って過言でないコレクションとなっています。

(5) 尼崎市指定文化財の指定後、初公開

平成 31 年３月に新たに市指定文化財に指定された「東園田遺跡出土イイダコ壺」「享保元年尼崎城堀浚願図（きょうほうがんねんあまがさきじょうほりさらいねがいず))」「安永七年尼崎城石垣櫓修補願図（あんえいしちねんあまがさきじょういしがきやぐらしゅうほねがいず)」を指定後、初公開します。

(6) 展示解説

５月 19 日(日)・26 日(日)、６月２日(日)　いずれも午後１時 30 分～２時 30 分

３　シンポジウム「市民とともにあゆむ博物館」

(1) 日時

令和元年６月１日（土）　午後１時～４時

(2) 会場

尼崎市総合文化センター２階　アルカイックホール・ミニ

(3) 内容

①　講演

演題　　地域で伝える民俗資料－地域住民と博物館を結ぶ活動

講師　　伊達　仁美　（京都造形芸術大学教授・尼崎市文化財保護審議会委員）

②　事例報告

・「美術館ボランティア」について（姫路市立美術館）

・「星の友の会」と「天ボラ」について（明石市立天文科学館）

・「西宮歴史調査団」について（西宮市立郷土資料館）

・尼崎市立文化財収蔵庫で活動する市民ボランティアについて（尼崎市立文化財収蔵庫）

③　パネルディスカッション・質疑応答

(4) 定員

先着 150 名

(5) 参加申込

５月７日から電話で文化財収蔵庫仮事務所（℡06－6489－9801）へ。

以　上

尼崎市立文化財収蔵庫出張企画展

はくぶつかんのコレクション

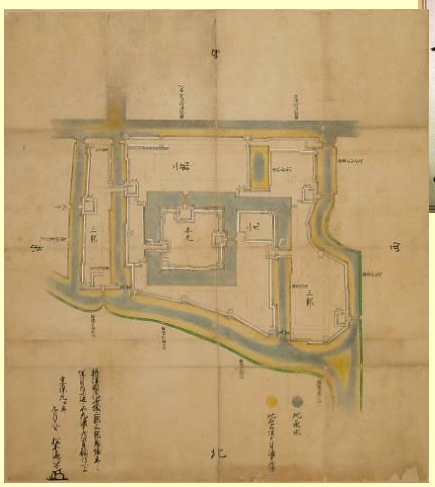
尼崎城絵図や朝鮮通信使資料、尼崎ゆかりの芝居錦絵、博覧会資料など、
尼崎の新博物館を特色づけるコレクションの中から、選りすぐりの逸品を紹介します。

入場無料

主　催：尼崎市教育委員会
問合せ：尼崎市立文化財収蔵庫（TEL06-6489-9801）

▲近世大坂画壇コレクションから「大岡春卜筆岳陽楼図」

▲尼崎ゆかりの芝居錦絵コレクションから「国周　絵本太功記十段目」



▲尼崎城絵図コレクションから「享保元年尼崎城堀浚願図」（尼崎市指定文化財）

▲尼崎ゆかりの広告資料コレクションから「丹波屋義信引札」

江戸時代の工芸品▲コレクションから「梅秋草蒔絵提重」

▲朝鮮通信使資料コレクションから「朝鮮人来聘行列次第」

古代・中世の荘園資料コレクションから「摂津職河辺郡猪名所地図」（兵庫県指定文化財）▼

▲博覧会資料コレクションから「日本初の美術館写真」

会　期：2019年5月16日(木)
～6月2日(日)
会期中無休

会　場：尼崎市総合文化センター
4階美術ホール
（尼崎市昭和通2-7-16、阪神尼崎駅徒歩５分）

開館時間：午前１０時～午後５時

展示解説
5月19日(日)・26日(日)、6月2日(日)
いずれも午後1時30分から　直接展示会場へ

- 阪神尼崎駅より
  立体遊歩道で徒歩約5分（国道2号線沿い）
- JR尼崎駅より
  阪神バス駅南側4番のりば23→
  阪神尼崎行「尼崎総合文化センター」下車
- 阪急塚口駅より
  阪神バス13→「昭和通」下車
  阪急バス55、57→「尼崎総合文化センター」下車
  ※阪神バスは尼崎市内線
- 有料駐車場あり（15分100円/最大900円）

阪神電車特急で「神戸三宮」から 22分
「梅田」から 7分
「大阪難波」から 20分
阪神尼崎

シンポジウム
市民と共にあゆむ博物館

尼崎市では、江戸時代の尼崎城本丸跡に所在する１９３８（昭和１３）年竣工の歴史的建造物である旧尼崎高等女学校校舎を転用した登録博物館「尼崎市立文化財収蔵庫」を全面リニューアルし、来年秋ごろに新しい博物館として再オープンする計画を進めています。

尼崎市立文化財収蔵庫では、これまでに、体験学習を学芸員と協働で実施したり、出土遺物の洗浄・整理を行う市民ボランティアを養成し、学芸員と市民ボランティアとの協働による博物館活動を推進してきましたが、新しい博物館では、市民との協働による博物館活動をさらに充実させ、たくさんの市民が博物館に足を運び、たくさんの市民が活動に参加できる、「市民と共に歩む博物館」を目指していきたいと考えています。

そこで、本シンポジウムでは、様々な形で市民が博物館で活動している事例をご紹介いただき、シンポジウム参加の市民の皆さんや他都市博物館の方々とも議論することにより、「市民と共にあゆむ博物館」を探っていきたいと思います。

シンポジウム次第

１　講　　演

演　題　　地域で伝える民俗資料ー地域住民と博物館を結ぶ活動

講　師　　伊達　仁美

（京都造形芸術大学教授・尼崎市文化財保護審議会委員）

２　事例報告

(1)　姫路市立美術館

テーマ　　「美術館ボランティア」について

報告者　　本丸 生野　（姫路市立美術館　係長・学芸員）

(2)　明石市立天文科学館

テーマ　　「星の友の会」と「天ボラ」について

報告者　　井上　毅　（明石市立天文科学館　館長・学芸員）

(3)　西宮市立郷土資料館

テーマ　　「西宮歴史調査団」について

報告者　　俵谷　和子　（西宮市立郷土資料館　係長・学芸員）

(4)　尼崎市立文化財収蔵庫

テーマ　　尼崎市立文化財収蔵庫で活動する市民ボランティアについて

報告者　　伏谷　優子　（尼崎市立文化財収蔵庫　主任・学芸員）

３　パネルディスカッション・質疑応答　　※敬称略、内容については都合により変更する場合があります

西宮歴史調査団活動報告会

尼崎市れきし体験学習ボランティアの活動

○ 日　　時　　２０１９年６月１日（土）　午後１時～４時

○ 会　　場　　尼崎市総合文化センター　２階　アルカイックホール・ミニ（玉翔の間）

○ 定　　員　　１５０名

○ 参加申込　　事前申込が必要です。電話で尼崎市立文化財収蔵庫までお申し込みください。
５月７日（火）より先着順に受け付けます。（電話０６－６４８９－９８０１）

○ 参 加 費　　無料

○ 主　　催　　尼崎市教育委員会

○ 後　　援　　兵庫県教育委員会・兵庫県博物館協会

尼崎市立文化財収蔵庫出張企画展「はくぶつかんのコレクション」企画書

歴博・文化財担当

１　趣　旨

尼崎市では、江戸時代の尼崎城本丸跡に所在する１９３８（昭和１３）年竣工の歴史的建造物である旧尼崎高等女学校校舎を転用した登録博物館「尼崎市立文化財収蔵庫」の内装を全面リニューアルし、来年秋ごろに新しい博物館として再オープンする計画を進めています。

尼崎市立文化財収蔵庫では、これまでに館内の企画展示室で年間５回程度、企画展を開催し、収蔵している博物館資料の公開に努めてきましたが、現在工事中のため、尼崎市総合文化センター４階美術ホールを会場に出張企画展を開催します。

今回の出張企画展では「はくぶつかんのコレクション」をテーマに、尼崎市が博物館建設に合わせて収集してきた、尼崎の歴史にゆかりの深いコレクションや、全国的に見てもトップクラスの充実度を誇るコレクションなど、尼崎市の博物館を特色づけるコレクションから選りすぐった逸品を紹介します。

２　展覧会名

尼崎市立文化財収蔵庫出張企画展「はくぶつかんのコレクション」

３　会　期

令和元年５月１６日（木）～６月２日（日）　午前１０時～午後５時　　会期中無休

４　会　場

尼崎市総合文化センター　４階　美術ホール　（尼崎市昭和通２－７－１６）

５　展示内容

⑴　古代・中世の荘園資料コレクション

奈良や京都に近接し水上交通が発達していた古代・中世の尼崎には東大寺領猪名荘を始めとする荘園が数多く設けられました。古代・中世の資料は絶対数が少ないなか、点数は約２０点ですが、古代・中世の尼崎の荘園に関わる貴重な資料を収集しています。本展では、このうち、兵庫県指定文化財に指定されている奈良時代の成立当時の姿を今に伝える猪名荘の絵図や平安時代の猪名荘の古文書、杭瀬荘の領有争いに関する鎌倉時代末期の古文書等を展示します。

⑵　近世大坂画壇の絵画コレクション

尼崎市内の寺院や神社に現存する江戸時代の襖絵や天井画、絵馬などは、その多くが大坂画壇とよばれる大坂の画家たちによって描かれました。寺町本興寺方丈の襖絵の作者大岡春卜や、久々知妙見宮（現、久々知須佐男神社）の天井画を描いた橘守国、絵馬を残した月岡雪鼎や福原五岳など、当地に作品を残した画家と門流を中心に、大坂画壇の絵画と木版本７０点を収集しています。本展では、壮年期に本興寺方丈の襖絵を描いた大岡春卜が晩年に描いた屏風絵「岳陽楼図」等を紹介します。

⑶　江戸時代の工芸品コレクション

尼崎は江戸時代には城下町であったことから、城や城下町の人びとの生活をイメージできるような江戸時代の工芸品を幅広く収集しています。なかでも武家や裕福な商人などが花見の行楽に用いた弁当箱、提重や、７００点に及ぶ櫛・簪・笄コレクションなどは、当時の人びとのくらしや流行などをうかがえるとともに、江戸時代の漆工や金工など細密工芸の美を鑑賞できる工芸品です。本展では桃山時代に流行した高台寺蒔絵のおおらかなデザインの余韻を残す「梅秋草蒔絵提重」等を紹介します。

⑷　尼崎ゆかりの芝居錦絵コレクション

平安時代末期の大物が舞台となる「義経千本桜」二段目「大物浦・渡海屋の段」や、安土桃山時代

の尼崎が舞台で、略して「太十」と呼ばれる人気芝居であった「絵本太功記」十段目など、尼崎を舞台にした芝居の場面や役者を描いた木版多色刷版画である「芝居錦絵」を約１００点収集しています。本展では、明治期の役者絵の第一人者の豊原国周が描き、明治４（１８７１）年に刊行された「国周　絵本太功記十段目」等を展示します。

⑸　朝鮮通信使資料コレクション

兵庫津(現、神戸市兵庫区)を領地としていた尼崎藩では、瀬戸内海を航行してきた朝鮮国からの公式外交使節団「朝鮮通信使」を同地で接待することが役割で、それは藩の威信をかけた大行事でした。この史実に由来し、本市では朝鮮通信使の資料収集を図っており、その総数は１００点を超えています。本展では、文化８（１８１１）年に朝鮮通信使が来日した際の将軍就任を祝う国書を運ぶ行列を描いた長さ１３ｍの絵巻物で４７９人の人物が描かれている「朝鮮人来聘行列次第」等を展示します。

⑹　尼崎城絵図コレクション

江戸時代に譜代大名戸田氏鉄によって建てられた尼崎城は、今では当時の姿を見ることはできませんが、尼崎城に関する資料は豊富に残されています。特に当担当が所蔵する約２０点の絵図は、尼崎藩の藩政文書を中心とするもので、質、量ともに優れた資料として、今回の尼崎城天守再建の資料にもなりました。今回の展示では、平成３０年度に尼崎市指定文化財に指定された、享保元（１７１６）年に尼崎城の掘り浚いを幕府に願い出たときの図面等を展示します。

⑺　尼崎ゆかりの広告資料コレクション

尼崎に所在した企業や商店が広告のために製作・発行した看板や引札、ポスター、チラシ、ラベルなどの広告資料約１３０点を収集していますが、そのうち明治から大正期に盛んに製作された多色刷広告の「引札」は戎大黒や日の出などおめでたい絵柄を色彩豊かに多色刷りで印刷した広告で約８０点収集しています。本展では、戦前の尼崎では最大の商店街であった本町通り商店街に所在した菓子商「丹波屋義信」が発行した引札等を展示します。

⑻　博覧会資料コレクション

産業都市尼崎にふさわしいコレクションとして、産業発展を目的に開催されたのが始まりである博覧会の資料を収集しており、その資料総数は３，７００点を超え、質、量共に日本一と言って過言でない大コレクションとなっています。本展では、明治１０（１８７７）年に東京上野公園で開催された日本初の全国規模の博覧会である第一回内国勧業博覧会の写真帖等を展示しますが、同写真帖は尼崎市と宮内庁しか所蔵しておらず、写真帖掲載の「日本初の美術館」の写真は現存唯一の写真です。

６　尼崎市教育委員会

７　観覧料

無料

８　展示解説

・日　時　　５月１９日（日）・２６日（日）、６月２日（日）　午後１時３０分～２時３０分
・会　場　　展示会場

９　尼崎市指定文化財の公開

本展では、平成３０年度に新たに市指定文化財に指定された「東園田遺跡出土イイダコ壺」「享保元年尼崎城堀浚願図」「安永七年尼崎城石垣櫓修補願図」を指定後、初公開します。

10　問い合わせ先

尼崎市立文化財収蔵庫仮事務所（兵庫県尼崎市南城内５、℡０６－６４８９－９８０１）

シンポジウム「市民と共にあゆむ博物館」開催要項

歴博・文化財担当

１　趣　旨

尼崎市では、江戸時代の尼崎城本丸跡に所在する１９３８（昭和１３）年竣工の歴史的建造物である旧尼崎高等女学校校舎を転用した登録博物館「尼崎市立文化財収蔵庫」の内装を全面リニューアルし、来年秋ごろに新しい博物館として再オープンする計画を進めています。

尼崎市立文化財収蔵庫では、これまでに、体験学習を学芸員と協働で実施したり、出土遺物の洗浄・整理を行う市民ボランティアを養成し、学芸員と市民ボランティアとの協働による博物館活動を推進してきましたが、新しい博物館では、市民との協働による博物館活動をさらに充実させ、たくさんの市民が博物館に足を運び、たくさんの市民が活動に参加できる、「市民と共にあゆむ博物館」を目指していきたいと考えています。そこで、本シンポジウムでは、様々な形で市民が博物館で活躍している事例をご紹介いただき、シンポジウム参加の市民の皆さんや他都市博物館の方々とも議論することにより、「市民と共にあゆむ博物館」を探っていきたいと思います。

２　日　時

令和元年６月１日（土）　午後１時～４時

３　会　場

尼崎市総合文化センター　２階　アルカイックホール・ミニ　　（尼崎市昭和通２－７－１６）

４　内　容

⑴ 講演

演　題　　地域で伝える民俗資料ー地域住民と博物館を結ぶ活動

講　師　　伊達　仁美　（京都造形芸術大学教授・尼崎市文化財保護審議会委員）

⑵ 事例報告

① 「美術館ボランティア」について（姫路市立美術館）

② 「星の友の会」と「天ボラ」について（明石市立天文科学館）

③ 「西宮歴史調査団」について（西宮市立郷土資料館）

④ 尼崎市立文化財収蔵庫で活動する市民ボランティアについて（尼崎市立文化財収蔵庫）

⑶ パネルディスカッション・質疑応答

５　定　員

１５０名

６　参加申込

文化財収蔵庫仮事務所までお電話でお申し込みください。５月７日（火）から先着順で受け付けます。

７　参加費

無料

８　主　催

尼崎市教育委員会

９　後　援（予定）

兵庫県教育委員会・兵庫県博物館協会

10　申込・問合先

尼崎市立文化財収蔵庫仮事務所（兵庫県尼崎市南城内５、℡０６－６４８９－９８０１）

シンポジウム「市民と共にあゆむ博物館」次第

１　開　会（13:00～13:05）

２　講　演（13:05～13:50）

演　題　　地域で伝える民俗資料－地域住民と博物館を結ぶ活動

講　師　　伊達　仁美　（京都造形芸術大学教授・尼崎市文化財保護審議会委員）

３　休　憩（13:50～13:55）

４　事例報告（13:55～15:15）

⑴　姫路市立美術館

テーマ　　「美術館ボランティア」について

報告者　　本丸 生野　（姫路市立美術館　係長・学芸員）

⑵　明石市立天文科学館

テーマ　　「星の友の会」と「天ボラ」について

報告者　　井上　毅　（明石市立天文科学館　館長・学芸員）

⑶　西宮市立郷土資料館

テーマ　　「西宮歴史調査団」について

報告者　　俵谷　和子（西宮市立郷土資料館　係長・学芸員）

⑷　尼崎市立文化財収蔵庫

テーマ　　尼崎市立文化財収蔵庫で活動する市民ボランティアについて

報告者　　伏谷　優子（尼崎市立文化財収蔵庫　主任・学芸員）

⑸　コメント

伊達　仁美　（京都造形芸術大学教授・尼崎市文化財保護審議会委員）

５　休　憩（15:15～15:20）

６　パネルディスカッション・質疑応答（15:20～16:00）

・コーディネーター　　楞野　一裕　（尼崎市立文化財収蔵庫　館長・学芸員）

・パネリスト　　伊達　仁美　（京都造形芸術大学教授・尼崎市文化財保護審議会委員）

本丸　生野　（姫路市立美術館　係長・学芸員）

井上　毅　（明石市立天文科学館　館長・学芸員）

俵谷　和子　（西宮市立郷土資料館　係長・学芸員）

伏谷　優子　（尼崎市立文化財収蔵庫　主任・学芸員）

７　閉　会（16:00）

以　上